

## AOYUZU -Salon de Digital- 第16回 講演概要

2026年1月28日開催「AOYUZU-Salon de Digital-」  
第16回 第1部の講演概要をご紹介します。



登壇者：  
日本ハムシステムソリューションズ株式会社  
代表取締役社長 田口 稔氏



日本ハム株式会社  
IT戦略部 マネージャー  
藤本 芳人氏

モデレーターとして、三枝幸夫氏（弊社 社外取締役、クールスプリングス株式会社 Founder & CEO、出光興産株式会社 シニアアドバイザー）を迎え、セミナーを開催。

### 【概要】

「ピンチかチャンスか、生成AI時代における情報システム子会社の勝ち残り策」と題し、生成AIの進化などのIT環境の急激な変化やシステム子会社を取り巻く環境の変化をチャンスと捉え、「新たな情報システム子会社」として、事業成長やグループ経営貢献をデジタルで牽引する役割を担うために、どのような思いでデジタル人材の育成、組織改革などに取り組んでいるのかを、ニッポンハムグループの取り組みと合わせてご紹介いただいた。

### 【講演内容】

#### ● 日本ハムグループにおける役割

ニッポンハムグループのITを担うグループ子会社として、「ニッポンハムグループ企業のベストパートナーとなる」をビジョンに事業展開を行っている。

#### ● 事業を取り巻く環境変化への取り組み

IT環境の急激な変化、経営環境の変化、働く環境の変化、人材が更に重要になる、経営からの期待とプレッシャーなどの事業を取り巻く環境の変化を、ピ

ンチではなく情報子会社にとって存在価値を高めるチャンスと捉えて、リーダーシップをとって変革をリードし、グループ経営に貢献できる価値の創出に取り組む絶好のチャンスだと捉えて、人・モノ・カネ・情報についてそれぞれの政策に取り組んでいる。

#### ● 取り組み方針

- ① 組織・個人がIT会社としてさらに成長  
(風通しよく働きがいのある挑戦する個・組織)
- ② 「従業員が真の幸せと生きがいを求める場」  
(グループ企業理念)
- ③ 魅力のある組織
- ④ 従業員のモチベーションをあげる
- ⑤ 僕もやる！

#### ● 具体的な取り組み

取組み1 明確なビジョンと目標の共有

社員が企業のミッションや価値観に共感できるように伝える。

取組み2 2030年に向けて目指すステージ

コアバリューの維持→進化→付加価値の創出→社会価値の競争

取組み3 キャリア成長の支援

教育・研修やキャリアパスの提供により、従業員の成長をサポート

取組み4 人材育成の重点4施策

自律型・チャレンジ人材、マネジメント力強化、事業・業務理解の深化、プロフェッショナル育成

取組み5 適切な報酬と評価制度

成果に見合った報酬や適切なフィードバックを行うことが、モチベーション向上に繋がる。

取組み6 社内 チャレンジ発表会

取組み7 組織診断 (Ocapi)

毎期継続的に実施

取組み8 個別人材分析

事業をドライブできる人材の育成に取り組む

取組み9 田口社長 通知簿

従業員が田口社長の通知簿を匿名でつける

取組み10 40周年記念イベント

感謝・交流・挑戦をテーマにイベント開催

取組み11 AI構想ビジョン

AIの徹底活用を推進し、ニッポンハムグループを競争優位性の高い企業に導く

## ● ニッポンハムグループ AI取組み

- ① 日本ハムグループのAI価値創造モデル  
データとAIを積極的に活用することで、従業員一人ひとりの創造性と可能性を引き出し、すべてのステークホルダーへの提供価値を最大化
- ② アーキテクチャー範囲（内製化中心）  
生成AIやプラットフォーム、開発など手広く内製化中心で取り組んでいる。
- ③ 全社GPT基盤内製化  
全社的なチャットGPT的な基盤を内製で整備
- ④ DXチャレンジプロセス  
小規模POC/POB→中規模POC/POB→本番化
- ⑤ 顧客理解/商品開発DX：GC分析  
消費者の生活傾向、購買傾向などを生産環境にインプットして商品開発に活用する
- ⑥ 帳票/手入力業務DX：帳票変換AI  
非定型業務や非特定データも処理可能化
- ⑦ セキュリティDX：脆弱性判定AI  
脆弱性情報のクローリング／スクレイピング  
／スクリーニングをAIで自動化

## ● 終わりに（田口 稔社長メッセージ）

今日、生成AIをはじめとするテクノロジーの進化には目を見張るものがあります。当社の従業員のみならず、システム、ITに携わる方には目の前の課題・難題に立ちむかうとともに、決して縁の下の力持ちだけではなく、新たなテクノロジーを用い、高い視座・広い視点、「be ambitious」マインドで、大志をいだき社内関係者やステークホルダー、オーバーに言えば日本の発展のために活躍してもらえれば大変うれしく思います。

本件に関するお問い合わせ先：  
IIMヒューマン・ソリューション株式会社  
03-4333-1111 / web@iimhs.co.jp

## AOYUZU -Salon de Digital- 第16回 講演概要

2026年1月28日開催「AOYUZU-Salon de Digital-」  
第16回 第2部の講演概要をご紹介します。



登壇者：  
日本マイクロソフト株式会社  
業務執行役員 エバンジェリスト  
西脇 資哲氏

モデレーターとして、三枝幸夫氏（弊社 社外取締役、  
クールスプリングス株式会社 Founder & CEO、  
出光興産株式会社 シニアアドバイザー）を迎え、セ  
ミナーを開催。

### 【概要】

生成AIやCopilotなどのテクノロジーは、企業の業務  
効率化だけでなく、意思決定や創造的な働き方にも大  
きな変革をもたらしている。本講演では、「AI × Co  
pilotが変えるデジタルの常識—マイクロソフトの最  
新ソリューションと導入事例—」と題し、マイクロ  
ソフトが推進する最新ソリューションの全体像と、実  
際に導入が進む国内外の事例を交えながら、生成AI時  
代における企業変革のヒントをご紹介いただいた。

### 【講演内容】

● **企業の業務や組織の在り方**  
生成AIが無くては業務ができない時代に突入してい  
る。生成AIを仕事そのものの進め方を再設計するた  
めの基盤技術として捉える必要がある。例えば、医療  
現場において、患者が事前にAIで情報を調べ、心電  
図やレントゲンの画像をAIで診断し、その内容をも  
とに医師へ質問するケースが増えている。これまで  
専門家が情報を一方的に提供してきた構図が崩れ、  
あらゆる業界・職種において、「利用者が先にAIを  
使って情報を入手する時代」がすでに始まっている。  
生成AIは、医師免許や司法試験の合格レベルなど、  
非常に高い能力を持っている。従業員に生成AIの  
能力を分け隔てなく与えるという経営判断をして  
欲しい。

### ● 生成AIを巡る競争環境

OpenAI、Google、Anthropic、Meta、DeepSeek  
などが巨額の投資を行い競争が激化、どのモデル  
が優れているかは短期間で入れ替わる状況にあり、  
特定のAIに依存するリスクは高まっている。AIモ  
デルを使い分ける柔軟な活用姿勢が必要となる。  
Copilotはこの良いところ取りを行う仕組みとな  
っている。

### ● 生成AIに100%を期待しない

AIは一度のやり取りで期待通りの答えを出すもの  
ではなく、使い手が問いを調整し続けることで初  
めて価値を発揮する。生成AI時代のスキルは、「問  
い立てるチカラ」「仮説を立て検証するチカラ」  
「評価し選択するチカラ」による試行錯誤の継続  
が重要である。

### ● 競争優位を引き出すには

生成AIが学習したデータは世界中のデータの0.000  
7%と言われている。残りは企業内にある。競争力  
の源泉は、この企業内データの活用にある。組織  
内の様々な企業データを整理・活用することで、  
より質の高いアウトプットが期待できる。Copi  
lotの最大の特徴は、Word/Excel/Outlook/Tea  
msなどと連携し企業内データを活用できる点と  
言える。業務を深く理解しているベテランの  
属人化した暗黙知をデータとして活用すること  
も有効になる。

### ● 活用事例

Wordで音声入力を文字起こししたデータを新聞  
記事レベルの文書とする事例、Teams会議での  
録音データから議事録作成や決定事項の自動  
抽出、過去の設計図面/データからCAD図面  
を作成、作業現場からの電話の音声データを  
適正化しFAQ/レポートを作成、作業現場  
での作業工程の撮影データからマニュアルを  
自動作成、事故写真から損害分析などの事例  
を紹介。

### ● まとめ

AIの活用はIT戦略にとどまらず、AIを活用  
できる人材を如何に育てるかと言った人材  
戦略、更にはデータをどう整理して活用して  
いくかという経営戦略である。AIが使いこ  
なせない仕事はできない時代になってくる。  
会社はどうリスクリングを進めていくかが  
大切になってくる。

本件に関するお問い合わせ先：  
IIMヒューマン・ソリューション株式会社  
03-4333-1111 / web@iimhs.co.jp

本資料は弊社が登壇者に許可をいただき記載している内容となります。事前の許諾なく無断で複製、複写、転載、転用、編集、改変等は固くお断りしております。